

平成28年7月28日

調査・研修報告書(会派個人用)

会派名: 清政会

報告者: 坂本義明

実施場所: 滋賀全国市町村 国際 研修所 実施日: 7/21 - 7/22

■目的・課題・問題事項(調査・研修に先立っての思いや本市の現状 など)

自治体予算を考へる。
財政と予算決算についての着眼点を改めて見直す為と。
予算決算常任委員会も、本市も立ち上げることも含め
他市との情報交換をするため。

■参考とすべき事項

歳入特に少子高齢化の進捗による現状を、どのように
受け止めて、ゆくのか、その方法について!!
ふるさと納税の活用 - PR等の現状。
拠出分米での繰上返済の補助金と出庫率を改めて見
要性も平等(地域ごとの格差を言わねば)財政の
整理、統合体早く手を入ることも必要だと確
認したい。

■提言・その他(本市の施策等にどのように活用すべきか など)

- 本市W於ても、スクラップ&ビルドと言った考え方を早く取り入れる政策を感じる。
- 有休財産の見直しも早く検討してほしい。
- ふるさと納税を再度PRは、花型入(ふるさと)の広げ、郷土出身者にお勧めする方法を考へるべき時代!! についていると是非

※ 調査・研修終了後、一週間以内に会派事務局へ提出してください。